

別 紙

公開概要書

受付日	令和 6 年 12 月 1 日	回答日	令和 6 年 12 月 18 日	担当課	環境衛生課
意見等の内容	脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、令和 6 年度に政府・福島県において開始された「ペロブスカイト太陽電池」の実証事業を先例として、以下のとおり要望する。 ①令和 7 年度に益田市における「ペロブスカイト太陽電池」の実用試験プロジェクト立ち上げ ②市内全世帯への次世代太陽電池の設置に係る助成制度の創設				
回答の内容	① 政府・福島県の「ペロブスカイト太陽電池」の実証事業は大型の国家プロジェクトです。地方都市の予算財政規模で独自に実施できる事業ではなく、現時点において、本市におけるプロジェクトを立ち上げは非常に困難であると考えます。 ② 「ペロブスカイト太陽電池」は、社会実装に向けた実証段階の製品であり、安全性や品質の確保、量産技術の確立、生産体制の整備など、様々な課題が残っています。一般住宅への設置が可能になるには、まだ相当の期間を要し、現時点において、補助・助成制度を検討する段階ではないものと考えます。				